

長年受け持ちの通院血液透析（HD）患者が高齢化し、ADLが低下し、周囲・家族の援助が期待できず、透析施設へ通院することが困難で、透析施設の善意による通院サービスも利用できなくなる……そんな例が増加しつつある。その際にはHDから腹膜透析（PD）に変更し、訪問看護などを活用して自宅で治療を継続する手も当然ある。

そのようななかで、各種の高齢者施設に入所（居）する患者が増加しつつある。今月はそのような状況に目を向けた特集を組み上げた。残念ながら透析治療の現場に身を置かれわれにとっても、このような患者が利用できる各種高齢者施設の特性・入所（居）条件・医療/介護費用等の公的負担の適用の有無などの知識は豊富とはいえない。ちなみに老健と特養の入所者では、透析医療費の取り扱い

が全く異なり、前者では検査・投薬・注射薬（貧血治療薬を除外）・透析以外の処置などは入所・入院料に包括されており、慢性維持透析管理料も算定できないことを、われわれはどれだけ知っているだろうか。また、現実には訪問看護を活用し、高齢患者のHDやPDを継続している事例や、HDからPDに移行して看護小規模多機能型居宅介護施設をフル利用して在宅状態を継続し、最期の看取りを自宅で行っている例を含め、社会の制度を活用している経験事例を豊富に取り上げた。そのようななかで、今春からの特別通院送迎加算は朗報であった。

あなたの施設で明日からでも是非、検討いただきたい内容に仕上がったと自負している。

（鈴木正司）

2024年（Vol. 40）特集のご案内

- No.① 骨合併症（骨折、アミロイド症を含む）
- No.② 血液透析患者の血圧を再考する
- No.③ “透析看護”研究，論文発表に繋げよう！
- No.④ 急性腎障害の最新トレンド
- No.⑤ 透析患者の心不全パンデミックに立ち向かう

- No.⑥ 学びなおし腹膜透析
- No.⑦ 腎臓リハビリテーションー理論と実際〔増刊号〕
- No.⑧ チームで挑む透析患者のフットケア
- No.⑨ 高齢者施設で生活する透析患者の実態
- No.10 透析医療を巡る臨床倫理

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.40 No.9

© 2024年8月10日発行

定価：2,860円

（本体2,600円＋税10％）

- ・2024年 年間購読料（増刊号含む13冊，税込）
冊子版 39,050円
電子版（個人のみ）39,050円
冊子版＋電子版（個人のみ）44,550円
（詳しくはホームページをご覧ください）
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話（03）3291-3901（代）FAX（03）3291-3904

編集直通電話（03）3291-3971（代）FAX（03）3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2024, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話（03）3814-8541